

えがお
愛顔の

とくべつしえんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい そう

清 掃

そうじき

—掃除機—



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

えひめけんきょういくいんかい
愛媛県教育委員会

R6年度（11訂版）

そ う じ き 【掃除機】手順表

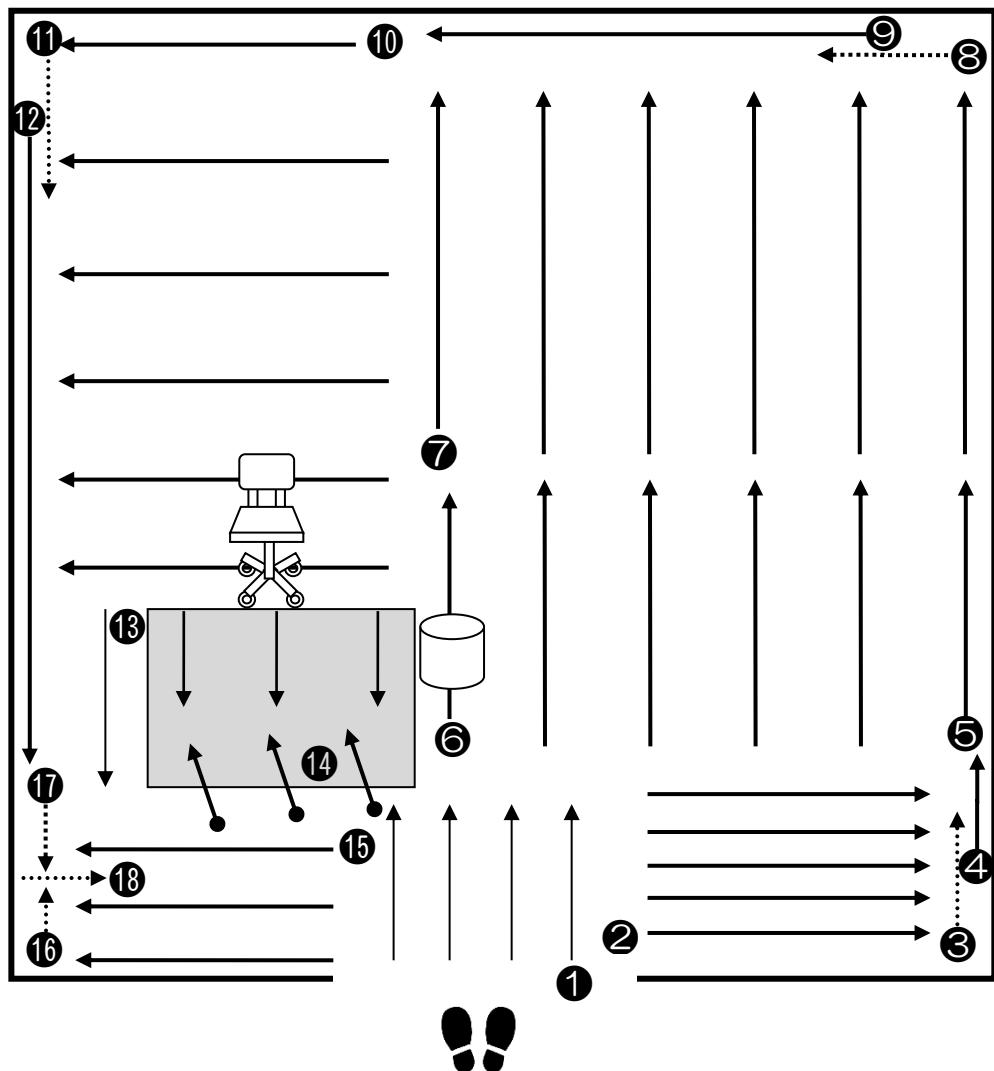
せいげんじかん
制限時間10分

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん 写真・イラスト等
1 み 身だしなみ	<p>① 清掃にふさわしい服装をする。</p> <p>② 清潔に気を付ける。</p>	
2 どうぐじゅんび 道具準備	<p>① 審査員「〇番△△さん スタート位置にお立ちください。」返事をして、スタート位置に立つ。</p> <p>② 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。</p> <p>③ 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 □作業表示板 □掃除機 □コードリール</p> <p>④ 掃除機を作業場所の近くに移動し、プラグを差し込み、電源を入れ、風量があるか、異常がないか確認する。</p> <p>⑤ 「準備ができました。」と報告する。</p>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> て あ て 手を当てて確認 </div>
3 さぎょうかいし 作業開始 にゅうしつあいさつ 入室挨拶	<p>① 審査員「では、作業を始めてください。」手を挙げ「(名前)です。始めます。」と言う。</p> <p>② 作業表示板を立てる。</p> <p>③ 入口で「失礼します。」と一礼して室内に入る。</p>	
4 じょじんさぎょう 除塵作業	<p>① 外から入口を除塵し、作業場所に入る。</p> <p>② 作業図(I-(6)-①-2)の手順で、入口から奥に向かって、右幅木側⇒中央部⇒机の下へと順に作業を進める。</p> <p>③ ごみ箱を持ち上げて、除塵する。作業図⑥参照</p> <p>④ いすを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、いすを元に戻す。作業図⑬参照</p>	 
5 てんけん 点検	<p>① 掃除機とコードを部屋の外に出し、掃除機のプラグを安全に抜く。</p> <p>② ごみの取り残しがないか、確認する。</p>	

6	片付け たいしつあいさつ かたづけ	①	でぐち しつない む しゅれい 出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と 一礼し退室する。	
		②	もと じょうたい もど コードを元の状態に戻す。	
		③	そうじき しきさいおきば もど 掃除機を資機材置場に戻す。	
		④	さぎょうひょうじばん しきさいおきば もど 作業表示板を資機材置場に戻す。	
7	作業終了 さぎょうしゅうりょう	①	いち たて あ お スタート位置に立ち、手を挙げ「終わりました。」 と報告する。	

《作業図：掃除機がけの手順》

※番号はかける方向の順番を表す。掃除機を動かす回数は適宜変えて構わない。



〔留意事項〕 1) ③⑧⑪⑯⑰⑱はウォンドを引くようにかける。

2) ③と④、⑧と⑨、⑪と⑫の境目は、重ねて除塵する。

そ う じ き かいせつ 【掃除機】解説

<p>1</p>	<p>※ 【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照</p>
<p>2 道具準備 ていぐいじゅもんび</p>	<p>※ 【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照</p> <p>コードリール</p> <p>■コードを掃除機から外し、異常がないか確認しながら伸ばし、からまらないよう床にまとめておきます。</p> <p>■作業前に、プラグをコンセントに差し込み掃除機の電源を入れ、吸い込み口（ノズル）に手をあて、風量があるか、異常がないか確認をします。作業を始めてから異常に気が付いたのでは、途中で別の掃除機を取りにいかなければならなくなる、時間のロスです。</p> <p>■濡れた手で作業をしないようにします。感電の危険があります。</p>
<p>3 作業開始 さぎょうかいじ</p>	<p>※ 【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照</p>
<p>4 除塵作業 じょじんさぎょう</p>	<p>■両手でホースとウォンド（パイプの部分）を持って作業を行います。</p> <p>背筋を伸ばして力を抜き、軽くホースとウォンドを持ちます。足は肩幅ぐらいに開き、片方の足を一步前に出すと楽に作業ができます。</p> <p>ごみを踏まないように、まず外から入口を除塵してから作業場に入ります。</p> <p>移動する時は、手で掃除機の本体を持ち上げます。ホースを持って本体を引っ張ると、物に当たって危険です。コードは、自分の足や掃除機本体、机の脚などにからまないように気をつけます。</p>

4 除塵作業
じょじんさぎょう



コーナーは、ごみや
ほこりがたまりやす
いので、特に丁寧に
かけます。

壁や机の脚にノズルをぶつけないように
気を付けて作業を進めます。ごみ箱と椅子
は、移動させながら除塵し、掃除機をかけ
た後は必ず元の位置に戻すようにします。

- ウォンドが体の右側にくるように持って作業を進めるのが基本です。
- 吸い込み口を床に強く打ちつけないように、軽くなるようにゆっくり引いたり押したりします。強く押し付けたり早く動かしたりすると、ほこりを吸い込めません。ノズルの手前をほんの少し浮かすようにすると、作業がしやすくなります。
- ゴミの取り残しがないよう、少しずつ重ねて隙間をあけないように作業を進めていきます。吸い込み口は中央にあるので、左右の両端にいくほど吸い込む力は弱くなります。ノズルの3分の1くらい重ねるようにすると、ごみの取り残しなくきれいにかけられます。

5 点検
てんけん

からら 必ず プラグを持って抜きます。コードを引っ張って抜く
も ぬ ひ ば ぬ
と、ショートなどがおきて危険です。また、ごみの取り残しを
きけん と のこ
かくにん とき そうじき はな はあい 確認する時など、掃除機から離れる場合は、プラグを抜いて
ぬ
おきます。



- ごみの取り残しがないか、コーナー、ごみ箱の下、
机の下を特に確認します。指さししながら確認すると、
より確実です。

6 退室・片付け
たいじゅ
かたづけ

つぎ つか とき
コードは、次に使う時のことを考えて、丁寧に巻いて
かんが
ていねい ま
おきましょう。雑に巻いてしまうと、次に使う時にから
まってしまい、すぐに使えません。



7 終了
しゅうりょう

- 仕事は、時間内に終えることが大切です。効率よく確実に清掃を終えるように努力をしましょう。

そ う じ き 【掃除機】

ひ ょ う か ひ ょ う 評価表

せいげんじかん ぶん
制限時間 10分 ≪ がつ 月 にち 日 ≫

		こ う 項 目	もく ひょうか 評価	ひ こ う 備考
1	①	□身だしなみを整えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
2 道 具 準 備	①	□道具を確認し、足りないものがあれば報告する。		
	②	□掃除機の電源を入れ、風量があるか、異常がないか確認し、異常があれば伝える。		
3 作 業 開 始	①	□適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	②	□作業表示板を適切な位置に置く。		
4 除 塵 作 業	①	□正しい掃除機の操作をする。(両手操作・床ブラシの角度) □本体を持ち上げて移動する。		
	②	□ごみの上を踏まないように作業を進める。		
	③	□コードを踏んだり、またいだりしないようにする。 □幅木・机の脚に床ブラシをぶつけないよう気を付ける。 □椅子を移動させ除塵をし、椅子を元の位置に戻す。		
	④	□決められた順番で作業を進める。		
5 点 検 査	①	□掃除機とコードを部屋の外に出し、掃除機のプラグを安全に抜く。		
	②	□ごみの取り残しがないか、確認する。 □コーナー □ごみ箱の下 □机の下 □中央		
6 片 付 け	①	□コードを丁寧にまとめる。		
	②	□使用した道具を全て資機材置場に片付ける。		
7 作 業 全 体	①	□適切な声の大きさ・態度で挨拶や報告をする。		※発語がない はい 場合は手を挙 あげて合図で可。
	②	□きびきびとした行動で、スムーズに作業を進める。		
かかる時間		分	秒	○の数

コメント

きゆう
級

○の数	1,2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
きゆう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

・できていない評価項目に□を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば○ができます。

・制限時間10分を超えた場合は、その時点で検定を中止し、級外とします。

ば せってい そ う じ き 『場の設定』 掃除機

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ 4m × 4m の範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。
- 4 資機材について

掃除機を移動する時は、手で本体を持ち上げます。
キャスター付き椅子（ひじ掛けなし）を使用します。

は い ち ず かい じ よう つ ご う へん こ う
配置図（会場の都合で変更することがあります。）

